慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	編集後記
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾福沢研究センター
Publication year	2026
Jtitle	近代日本研究 (Journal of modern Japanese studies). Vol.42, (2025.)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10005325-20250000-0306

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

執筆者紹介（掲載順）

末木孝典	慶應義塾高等学校教諭
安野修右	日本大学法学部准教授
吉田龍太郎	高岡法科大学法学部准教授
岡田陽介	拓殖大学政経学部教授
水野博太	防衛大学校講師
蔭木達也	明星大学経済学部准教授
平山洋	静岡県立大学国際関係学部助教
松岡李奈	慶應義塾福沢研究センター助教
都倉武之	慶應義塾福沢研究センター教授

編集後記

本巻では、一九二五年に男子普通選挙が実現してから一〇〇年という節目にあわせて、「男子普通選挙一〇〇年」と題する特集を組んだ。

特集は、末木孝典「近代日本において選挙に関わる権利はどのように考えられたか――選挙権・被選挙権の欠格条項を中心に」、安野修右「公職選挙法の制定と選挙報道・評論の自由」、吉田龍太郎「政治資金規正法と政治活動の自由――制定時の議論を振り返る」、岡田陽介「有権者における公職選挙法の認知構造――政治家の寄附行為に対する有権者の認知」、で構成されている。普通選挙、公職選挙法、政治資金規正法を、多角的に考察した論考で、寄稿してくださった各位に心より感謝申し上げる次第である。

公募論文には多くの投稿をいただいたが、厳格な査読を経て、論説として水野博太「「実地有用之文学士」――福沢諭吉の「文学」観と慶應義塾文学科」、研究ノートとして蔭木達也「「自己」における「個」と「性」の弁証法――平塚らいてうの「避妊」論をめぐって」および平山洋「『西洋事情』「文明政治の六条件」の起源とその影響――シビルガバメント（Civil Government）概念の検討を中心に」が掲載された。内容は多岐にわたるが、いずれも近代日本研究の発展に資する力作である。

巻末には、例年通り「福沢諭吉関係新資料紹介」（松岡李奈）を掲載したほか、明治三四年以降の三田演説会の一覧を掲げた。後者は、「三田演説日記」などの記録が港区教育委員会から区の文化財（古記録）に指定されたことを受けて、都倉武之が整理・紹介したものである。

次巻は、二〇二七年二月の刊行を予定している。さらなる意欲作の投稿を期待したい。